

金沢大学等による調査活動を通じた地域活性化

<石川県>

市町村・集落の名称	石川県輪島市町野町金蔵
協働の相手（企業や大学等）の名称	金沢大学 〒920-1192 石川県金沢市角間町
仲介者・コーディネーターの名称	NPO法人 やすらぎの里 金蔵学校
協働のポイント	「あなたが先生、私が生徒。私が先生、あなたが生徒」を基本理念にあるものを生かして（たんぼと5ヶ寺の佇まい、そしてお年寄り）、過疎集落の村おこしの多種多様な取組みを行い、マスコミを通じて情報発信。このことにより、金沢大学と連携。
協働のきっかけ・経緯	平成18年9月、空屋利用で金沢大学の里山自然学校の分室として、「金蔵自然文化研究所」設営を依頼し、平成19年3月除幕式を行った。 以来、同大学及びその他大学や一般の宿泊施設として、稼働中。
取組の具体的な内容	金沢大学による里山動植物の生態調査研究・発表会、稲作体験交流、棚田米の発信等の活動を行う。また、他の大学では、民族学・社会学調査研究等の活動を行っている。
農村地域への効果	大学関係者が動植物生態学調査、歴史調査、生活習慣等の社会学調査に入村、5ヶ寺と棚田景観巡り、お寺を利用したオープンカフェ「木の音（こえ）」への訪れ、等々の交流人口の増加。
都市部の主体（企業や大学等）への効果	大学ゼミとして、生態学、社会学、民族学などの調査研究の場として提供。
仲介者等の役割	
今後の課題	空屋利用の「金蔵自然文化研究所」の施設充実。 過疎を止めることが究極の目的ではあるが、交流人口が増加する中でやはり、地域の特産物開発・ブランド化をいかにするかである。
関連事業（国・都道府県等）	国連大学高等研究所と里山実体調査